

○令和3年度第1回渋川市総合計画審議会結果概要

会議名称	令和3年度第1回渋川市総合計画審議会	
開催日時	令和3年11月12日(金)10時から12時まで	
開催場所	渋川市役所 本庁舎3階 大会議室	
出席者	<p>○審議会委員：河藤委員、結城委員、戸塚委員、澤田委員、南雲委員、木村委員、宮嶋委員、和田委員、水沢委員、桑原委員、高澤委員、寺島委員、関口委員、石井委員、原委員、柄澤委員、野村委員、新井委員、武藤委員</p> <p>○市長、教育長</p> <p>○部局長：市長戦略部長、総務部長、総合政策部長、市民環境部長、福祉部長、スポーツ健康部長、産業観光部長、建設交通部長、危機管理監、上下水道局長、教育部長、議会事務局長、監査委員事務局長、農業委員会事務局長</p> <p>○事務局：政策創造課長、政策創造課課長補佐、政策創造課職員</p>	
配付資料	<ul style="list-style-type: none"> ・資料No.1 第2次渋川市総合計画後期基本計画策定方針 ・参考資料 第2次渋川市総合計画書（新任委員のみ） 	
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 委嘱状交付 ※新任委員のみ 3 あいさつ 4 自己紹介 5 議事 <ol style="list-style-type: none"> (1) 第2次渋川市総合計画後期基本計画策定方針について 6 その他 7 閉会 	
審議状況	審議経過	<p>○議事（説明：政策創造課長）</p> <p>(1) 第2次渋川市総合計画後期基本計画策定方針について 第2次渋川市総合計画後期基本計画策定方針について説明。</p>
	結論	<p>(1) 第2次渋川市総合計画後期基本計画策定方針について 各委員より総合計画の各分野について、質問及び意見があった（概要は次のとおり）。</p>

○ 議事の審議概要

(1) 第2次渋川市総合計画後期基本計画策定方針について

【質問】

No.	委員からの質問	市からの回答
1	市民の参画として、「中学生・高校生の意識調査」が予定されていますが、令和4年6月の市民意識調査と併せて実施するという考えでよろしいか。	お見込みのとおり。

【意見】

No.	委員からの意見等
1 計画全体に関する事	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少対策について、重点的な施策を打ち出すべき。 ・きちんと前期基本計画の総括をした上で計画策定すべき。 ・市民意識調査については、市民の意見やニーズを的確に把握するため、設問内容をよく考えていただきたい。 ・計画には、策定方針に記載している各視点をうまく盛り込むとともに、SDGs 17の目標と各施策どのように関連してか、可視化してあると分かりやすい。
2 安全・安心、暮らしに関する事	<ul style="list-style-type: none"> ・災害後の対応において、特に避難所の運営等では多様な立場に配慮してほしい。 ・消防力維持について、地元の方に消防団等でご協力いただいていることを計画に記載していただきたい。
3 健康、福祉、スポーツに関する事	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツの普及・振興及び健康増進のために、スポーツ施設の充実が必要だ。国体を利用した施設整備を計画に盛り込んでほしい。 ・子育てしやすい環境づくりのため、経済的な支援に注力するとともに、子どもが渋川を好きになれるようにしていただきたい。
4 産業に関する事	<ul style="list-style-type: none"> ・前期基本計画における「商業の振興」、「勤労者対策の充実」について、後期基本計画では、より具体的な内容が記載されると良い。 ・観光について、アフターコロナを見据えて、インバウンド対策を注力すべき。

<p>5 都市基盤、自然環境に関すること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・環境美化について、依然として不法投棄が多い状況のため、不法投棄に対する意識の改善を引き続きお願いしたい ・ごみの減量化・再利用化について、SDGsの達成にも寄与するため、計画に記載してほしい。 ・都市計画道路や用途地域について、コンパクトシティの観点からも、適切に見直しを進めてほしい。
<p>6 教育、文化に関すること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃の文化活動を披露するための環境整備を充実してほしい。 ・学校や公民館、図書館等に、放課後子どもが安全に過ごせる居場所があると良い。
<p>7 自治、協働、行財政に関すること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの団体の活動を、行政等がつなぐことで、情報共有し、連携していける仕組みを作るべき。 ・行政の取組について、いろいろな団体等に投げかけをして、意見を取り入れた上で実施してほしい。 ・デジタル技術の活用のため、市に専門部署を設置することが必要。 ・公募委員に対して、逐次情報提供に努めてほしい。 ・市民に自分の住んでいる地域に興味を持ってもらえるよう、市の情報発信の方法を工夫してほしい。